

銅造如来立像 1 軀



指定区分	県指定重要文化財(彫刻)
読みかた	どうぞうによらいりゅうぞう
所在地	倉敷市浅原
指定年月日	令和6年3月15日
解説	報恩大師により桓武天皇御願で開創したと伝わる朝原山安養寺に祀られる本尊である。 金鍍金(きんめっき)を施した鋳銅製(ちゅうどうせい)で、像高は 92.0 センチメートルを測り、その重量は56.0 キログラムと非常に重い。 像容や素材の成分から奈良時代前期に製造されたと評価されている。 岡山県下に伝来する金銅仏で、これほどの大きさと出来栄えの優れた遺例はなく、さらに我が国を代表する金銅仏と比較しても遜色のない優品であり、日本彫刻史の貴重な作例である。
アクセス方法	山陽自動車道・倉敷ICから車で約5分 JR山陽本線・倉敷駅から車で約15分 イオンモール 倉敷から車で約12分 アリオ倉敷・三井アウトレットパーク倉敷から車で約11分
公開状況	安養寺成願堂にて常時公開(9:00～17:00)
設備	駐車場  トイレ 
備考	

きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定重要文化財(彫刻)
ぶんかざいめい (文化財名)	銅造如来立像 1 軀
よみかた	どうぞうによらいりゅうぞう
しょざいち (所在地)	倉敷市浅原
していつひ (指定した日)	令和6年3月15日
せつめい	朝原山安養寺の本尊(ほんぞん)で、姿等から奈良時代前期に作られたと評価されています。 金鍍金(きんめっき)を施した鋳銅製(ちゅうどうせい)で、高さ 92.0 センチメートル、重さ56.0 キログラム。 岡山県内の金銅仏(こんどうぶつ)で、これほどの大きさと優れた出来栄のものはないほどの優品です。